



(報道関係各位)

令和7年7月11日 発表

## 【本件に関するお問い合わせ】

☑ HP 公開

川越市立博物館 学芸担当 担当者：伊藤

☎049-222-5399 (直通) Fax : 049-222-5396 メール : hakubutsukan★city.kawagoe.lg.jp

※@部分を「★」と表示しています

## 第52回企画展「川越の地口行灯—一力齋とうろう絵の世界ふたたび—」

会期：令和7年7月19日(土)～9月28日(日)

会場：川越市立博物館 特別展示室

### 開催要項

川越には、江戸時代後期から一力齋という屋号で代々地口絵(とうろう絵)を描き続けてきた提灯屋があり、今もその伝統と屋号を継承した一力齋が市内大手町で作品を描いています。

地口とは、江戸時代に流行った駄洒落のようなことば遊びです。神社などの祭礼の夜には、こうした地口とそれにちなんだ絵を描きそえた地口行灯が参道にたくさん並び、祭礼に色をそえるとともに、参拝者の目を楽しませました。

この一力齋の作品を中心に、地口絵の素朴な筆づかいと軽妙な笑いをお楽しみいただく本展覧会は、令和2年3月に開催を予定していたものの、コロナ禍により公開を断念せざるを得なかった第48回企画展「川越の地口行灯—一力齋とうろう絵の世界—」を、今一度みなさまに見ていただきたいと企画されたものです。

川越の一力齋ならではのとうろう絵から、江戸時代の人々のくらしや文化を考えるとともに、多彩なことば遊びの世界を紹介いたします。

### 詳細

会期：令和7年7月19日(土曜)～9月28日(日曜)

休館日：毎週月曜(7/21・8/11・9/15は開館)、

7/22(火)・25(金)・8/12(火)・22(金)

9/16(火)・26(金)

入館料：一般 200円(160円)、

大学生・高校生 100円(80円)

### 展示資料(一部)

①とうろう絵 土屋澄子

②忠臣蔵十一段両国橋勢揃図 大判三枚続錦絵 歌川国芳 ほか

